

報告事項ウ

令和3年度鳥取県教科用図書選定審議会の答申について

令和3年度鳥取県教科用図書選定審議会の答申について、別紙のとおり報告します。

令和3年7月7日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和3年4月27日

鳥取県教育委員会  
教育長 足羽 英樹 様

鳥取県教科用図書選定審議会  
会長 谷中 久和



令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書並びに中学校教科用図書の採択に関する事項について（第1次答申）

令和3年4月27日付けで諮問のあった令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級並びに中学校における教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

#### 記

- 1 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について
- 3 令和4年度に使用する中学校教科用図書の採択基準について
- 5 県が設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択について
- 6 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について

## 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準

- 1 特別支援学校の小学部及び中学部において令和4年度に使用する教科用図書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条第6項の規定により、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、「小学校用教科書目録（令和4年度使用）」「中学校用教科書目録（令和4年度使用）」「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和4年度使用）」に登載された教科書のうちから採択する。
- 2 小学校、中学校及び義務教育学校の特別支援学級において令和4年度に使用する教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条に定めるところにより、小学校及び義務教育学校（前期課程）においては令和元年度、中学校及び義務教育学校（後期課程）においては令和2年度及び令和3年度に採択された同一の教科用図書とすること。
- 3 特別支援学校及び特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択については、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮すること。

## 令和4年度に使用する中学校教科用図書の採択基準

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令並びに同法施行規則の示すところに基づき、令和4年度に中学校（特別支援学校の中学部を含む。）において使用する教科用図書について、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く。）の校長の行う採択に関し、基準を定める。

- 1 中学校（特別支援学校の中学部を含む。）で使用する教科用図書の採択は、学校教育法附則第9条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）を除き、「中学校用教科書目録（令和4年度使用）」に登載されている教科書のうちから採択する。
- 2 採択地区内の市町村教育委員会は、協議して同一の教科用図書を採択するため、地区採択協議会を設けるとともに、採択に関する協議は、県教科用図書選定審議会と対等の立場で行うものとする。
- 3 採択は、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、地域や児童生徒の実態等を考慮し、十分な調査研究のもとに市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く。）の校長が行う。

## 県が設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択

### 採択方針

各県立特別支援学校においては、「教科書選定委員会」を設置し、各学校における児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等に応じて最も適当と思われる教科用図書を選定し、県教育委員会に採択申請を行う。県教育委員会は各学校長からの採択申請に基づいて審査を行い、採択する。

### <根拠法令>

#### 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条

○県立特別支援学校において使用する教科用図書の採択は、あらかじめ選定審議会の意見を聞いて、種目ごとに一種の教科用図書について行うものとする。

#### 学校教育法第34条、第49条、附則第9条

- 県立特別支援学校において使用する教科用図書は、「小学校用教科書目録（令和4年度使用）」、「中学校用教科書目録（令和4年度使用）」、「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和4年度使用）」に登載された教科用図書のうちから採択しなければならない。
- 県立特別支援学校、特別支援学級においては、学校教育法附則第9条の規定により、目録に登載されている教科用図書以外のものを使用することができる。

## 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の 校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割

県教育委員会は、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長に対し、次のことに留意し採択を実施するよう指導、助言又は援助するものとする。

### 1 専門的な調査研究の充実について

- (1) 選定資料が、学習指導要領に示された「目標」及び「内容」に即して各教科書の特徴等がわかるものとなるようにすること。
- (2) 学校教育に経験豊かな者のうちから、適切な数の調査員を選任し配置すること。

### 2 適正かつ公正な教科書採択の推進について

- (1) 採択権者は公正確保の徹底を図るとともに、自らの権限と責任において適正な採択を行うこと。
- (2) 地区採択協議会で協議して採択する場合は、関係市町村教育委員会の意向が十分反映されるよう工夫すること。
- (3) すべての検定済教科書を対象とした調査研究を行うとともに、調査員の権限と責任の範囲を明らかにすること。

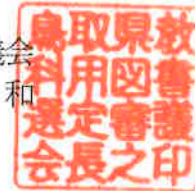
### 3 開かれた教科書採択の推進について

- (1) 採択結果及び採択理由、選定資料、会議録、協議会委員及び調査員の氏名等を採択事務の支障のない範囲で公表すること。
- (2) 教科書展示会の来場者の意見を教科書採択事務の改善等に活用すること。

令和3年6月10日

鳥取県教育委員会  
教育長 足羽英樹様

鳥取県教科用図書選定審議会  
会長 谷中久和



令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書並びに中学校教科用図書の採択に関する事項について（第2次答申）

令和3年4月27日付けで諮問のあった令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級並びに中学校における教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

記

- 2 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について
- 4 令和4年度に使用する中学校教科用図書の選定に必要な資料について

令和4年度に使用する特別支援学校及び  
特別支援学級における教科用図書を選定に必要な資料

令和3年度作成

鳥取県教科用図書選定審議会



R3発行者コード	発行所	書名	R3図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
17	教出	こくごことばのべんきょうん	B-121	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校小学部聴覚障害者用（1年生）の内容。</li> <li>・1年生段階の興味や関心に即して身近な言葉や発音を学習する内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や日常生活に必要な語句を身に付けることができる。</li> <li>・口形や息の出し方、発音の仕方を視覚的に学ぶことができる。</li> <li>・イラストや表記が古く、現代の生活様式に合わない部分があるため、指導の際には配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦26cm×横18cm</li> <li>・179ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・文字は18～28ポイント</li> <li>・HGS教科書体</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語</li> <li>・小学校1年生</li> <li>・個別学習、一斉学習</li> </ul>
17	教出	こくごことばのべんきょうん	B-221	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校小学部聴覚障害者用（2年生）の内容。</li> <li>・2年生段階の興味や関心に即して身近な言葉の使い方や発音を学習する内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な簡単な会話や短い文の読み書きを身に付けることができる。</li> <li>・短音と長音、息の出し方や舌の位置などの発音の違いを意識しながら学ぶことができる。</li> <li>・イラストや表記が古く、現代の生活様式に合わない部分があるため、指導の際には配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦26cm×横18cm</li> <li>・172ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・文字は16～18ポイント</li> <li>・HGS教科書体</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語</li> <li>・小学校2年生</li> <li>・個別学習、一斉学習</li> </ul>
17	教出	こくごことばのべんきょうん	B-321	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校小学部聴覚障害者用（3年生）の内容。</li> <li>・簡単な文章を読み取ったり、自分の経験等を簡単な文章で表現したりして、生活に必要な言葉の使い方を学ぶ内容。</li> <li>・発音の仕上げを学ぶ内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や日常生活における行事や季節の題材を通して、順序よく話したり、大事なことを落とさないように読んだりする学習に取り組める。</li> <li>・パママ表による発音の仕方の確認や、短文による発音練習をすることができる。</li> <li>・イラストや表記が古く、現代の生活様式に合わない部分があるため、指導の際には配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦26cm×横18cm</li> <li>・120ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・文字は14～18ポイント</li> <li>・HGS教科書体</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語</li> <li>・小学校3年生</li> <li>・個別学習、一斉学習</li> </ul>
17	教出	国語 ことばのれんしゅう四年	B-421	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校小学部聴覚障害者用（4年生）の内容。</li> <li>・社会生活に関連した文章を読み取ったり、読み取ったことや自分の経験等を説明したり詳しく表したりする内容。</li> <li>・生活に必要な言葉の使い方を学ぶ内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に関する題材を通して、伝えたい事柄の中心をはっきりさせて表現したり、様子や気持ちを読み取ったりする学習に取り組める。</li> <li>・「めあて」「勉強の手引」「言葉の勉強」に沿って学習を進めることができる。</li> <li>・イラストや表記が古く、現代の生活様式に合わない部分があるため、指導の際には配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦26cm×横18cm</li> <li>・77ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・文字は16～20ポイント</li> <li>・HGS教科書体</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語</li> <li>・小学校4年生</li> <li>・個別学習、一斉学習</li> </ul>

R3発行者コード	発行所	書名	R3図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
17	教出	国語 ことばの練習 五年	B-521	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校小学部聴覚障害者用（5年生）の内容。</li> <li>物語文や説明文を読み取る内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子や登場人物の気持ちの変化を読み取ったり、文と文の関係を考えたりする学習に取り組める。</li> <li>「めあて」「勉強の手引」「言葉の勉強」に沿って学習を進めることができる。</li> <li>イラストや表記が古く、現代の生活様式に合わない部分があるため、指導の際には配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦26cm×横18cm</li> <li>74ページ</li> <li>表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>文字は14～18ポイント</li> <li>HGS教科書体</li> <li>全ページカラー</li> <li>ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語</li> <li>小学校5年生</li> <li>個別学習、一斉学習</li> </ul>
17	教出	国語 ことばの練習 六年	B-621	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校小学部聴覚障害者用（6年生）の内容。</li> <li>物語文や説明文を読み取る内容。</li> <li>手紙や脚本、卒業文集等の色々な表現方法が身に付けられる内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な表現や言い換えの言葉などを工夫して相手に伝わる表現の仕方を学んだり、事実と感想を区別しながら正確に読んだりする学習に取り組める。</li> <li>巻末に付録「言葉のきまり一覧」があり、単語の種類や活用など言葉のきまりについて学習することができる。</li> <li>イラストや表記が古く、現代の生活様式に合わない部分があるため、指導の際には配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦26cm×横18cm</li> <li>74ページ</li> <li>表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>文字は14～18ポイント</li> <li>HGS教科書体</li> <li>全ページカラー</li> <li>ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語</li> <li>小学校6年生</li> <li>個別学習、一斉学習</li> </ul>
2	東書	国語 ☆☆☆	C-721	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会生活における題材を通して、色々な表現方法に気づきながら、必要な言葉の力を身に付ける内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話のかけ方、手紙の書き方、自分の夢について語る体験等、日常生活や社会生活における人との関わりを題材に、伝え合う力を高めたり自分の考えを持つたりする学習に取り組むことができる。</li> <li>巻末のローマ字表を用いてローマ字を学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦26cm×横18cm</li> <li>110ページ</li> <li>表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>本文は24～30ポイント</li> <li>HGS教科書体</li> <li>全ページカラー</li> <li>ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語</li> <li>中学部1段階</li> <li>個別学習、一斉学習</li> </ul>
2	東書	国語 ☆☆☆☆	C-722	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活や社会生活における題材を通して、伝え合ったり話し合ったりしながら、必要な言葉の力を身に付ける内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校紹介や職場体験、修学旅行等、日常生活や社会生活における人との関わりを題材に伝え合う力を高めたり、自分の思いや考えをまとめたりする学習に取り組むことができる。</li> <li>巻末のローマ字表を用いてローマ字を学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦26cm×横18cm</li> <li>120ページ</li> <li>表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>本文は20～26ポイント</li> <li>HGS教科書体</li> <li>全ページカラー</li> <li>ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語</li> <li>中学部2段階</li> <li>個別学習、一斉学習</li> </ul>

R3発行者コード	発行所	書名	R3図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
17	教出	数学 ☆☆ ☆☆	C-721	・日常の事象を題材にし、3位数までの整数の概念や身近な図形、測定について理解できる課題で構成。	・3位数までの数、加法・減法、九九、身近な図形の構成、長さ・かさ・重さ、時刻、時間の計算、表やグラフへの表し方等を日常生活に即して学習できる。 ・図やイラストなどを用いた例題を通して基本的な概念を理解し、技能を身につけ、練習問題で学習の定着を図ることができる。	・縦26cm×横18cm ・148ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字10～24ポイント ・HGS教科書体 ・全ページカラー ・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記	・数学 ・中学部1段階 ・個別学習、一斉学習
17	教出	数学 ☆☆ ☆☆☆	C-722	・日常の事象を題材にし、4位数までの数や図形、単位などの概念や性質の理解を深める課題で構成。	・除法や分数、小数、面積や角の大きさ、数量の変化と関係、各種グラフの読み方・書き方等を日常生活に即して学習できる。 ・図やイラストなどを用いた例題を通して基本的な概念を理解し、技能を身につけ、練習問題で学習の定着を図ることができる。	・縦26cm×横18cm ・122ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字8～24ポイント ・HGS教科書体 ・全ページカラー ・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記	・数学 ・中学部2段階 ・個別学習、一斉学習
2	東書	おんがく ☆	C-121	・身近な童謡や手遊び歌を中心に、イラストや写真を大きく掲載しており、巻末には楽譜を収録。	・音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。 ・イラストや写真を手掛かりにイメージを広げながら、身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けることができる。	・縦26cm×横18cm ・128ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字12～16ポイント ・本文HGS教科書体、見出しMSゴシック ・全ページカラー（楽譜以外） ・ひらがなで表記	・音楽 ・小学部1段階 ・一斉学習、個別学習
2	東書	おんがく ☆☆	C-122	・手遊び歌や絵描き歌に加えて簡単な音階やリズムについて掲載しており、巻末には楽譜を収録。	・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。 ・イラスト等を手掛かりに曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて学習できる。	・縦26cm×横18cm ・124ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字12～16ポイント ・本文HGS教科書体、見出しMSゴシック（要確認） ・全ページカラー（楽譜以外） ・ひらがなで表記	・音楽 ・小学部2段階 ・一斉学習、個別学習

R3発行者コード	発行所	書名	R3図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
2	東書	おんがく ☆☆☆	C-123	・歌や曲の情景に合ったイラストや写真、色分けした楽譜を掲載しており、巻末には楽譜を収録。	・歌唱や器楽の活動等をおして音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じることができる。 ・イラストや写真を手掛かりに情景をイメージしたり、色分けされた音符を手掛かりに音の高さの違いを意識したりしながら器楽や歌唱、音楽づくりを学習することができる。	・縦26cm×横18cm ・124ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字12～16ポイント ・本文HGS教科書体、見出しMSゴシック ・全ページカラー（楽譜以外） ・ひらがな、カタカナ、漢字に振り仮名で表記	・音楽 ・小学部3段階 ・一斉学習、個別学習
2	東書	音楽 ☆☆ ☆☆	C-721	・日本や世界の代表的な様々なジャンルの音楽を題材に、歌い方や楽譜の見方等の基本的な知識、技能に関する内容。 ・巻末には楽譜を収録。	・身体表現や音楽づくり等をおして進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。 ・写真やイラストで声の出し方を確認したり、音符や休符を用いたりリズム譜や楽譜を使って作曲や合奏につなげたりすることができる。	・縦26cm×横18cm ・160ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字12～16ポイント ・本文HGSゴシック、見出しMSゴシック ・全ページカラー（楽譜以外） ・ひらがな、カタカナ、漢字にルビ付きで表記	・音楽 ・中学部1段階 ・一斉学習、個別学習
2	東書	音楽 ☆☆ ☆☆☆	C-722	・日本や世界の代表的な様々なジャンルの音楽を題材に、歌い方や楽器等の幅広い知識、技能に関する内容。 ・ふろくとして「音楽のきまり」を掲載。 ・巻末には楽譜を収録。	・合唱や合奏などの表現活動をおして主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむことができる。	・縦26cm×横18cm ・164ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字12～16ポイント ・見出し16ポイント ・本文HGS教科書体、見出しMSゴシック ・全ページカラー（楽譜以外） ・ひらがな、カタカナ、漢字にルビ付きで表記	・音楽 ・中学部2段階 ・一斉学習、個別学習
01-1	あかね書房	単行本 さわって あそぼう ふわふわ あひる	001	・ページをめくると、あひるなどの生き物（ふわふわした素材付き）が登場する仕掛け絵本。	・擬態語を含む言葉のリズムと、色や感触を味わいながら、言葉や形、色に親しむことができる。 ・はっきりした色づかいで、色や感触、形を表す言葉を実感しながら学ぶことができる。また、ページをめくる作業を通して、生き物の色も認識できる仕掛け絵本として活用できる。	・縦16cm×横19cm ・18ページ ・表紙はボール紙、本文は特厚口つやあり ・文字14～26ポイント ・HG丸ゴシック ・全ページカラー ・ひらがなで表記 ・一部（7か所）に感触系素材を使用	・国語、図画工作 ・小学部1～2段階 ・個別学習

R3発行者コード	発行所	書名	R3図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
06-2	学研	あそびのおうさまBOOKはじめてできるほん	G08	・親しみやすい身の回りの物のイラストに、関連したものを切り貼りしたり描いたりする遊びの要素を取り入れて作品を完成させる内容。	・カラフルな色や模様のあるページを材料にして、切ったり、やぶいたり、貼ったり、色を塗ったりすることで、偶然にできた形や組み合わせのおもしろさを感じながら楽しむことができる。 ・子どもの発達段階に応じて、切ったり貼ったりすることで創造的に楽しむことができる。	・縦21cm×横30cm ・80ページ（厚紙でできたのりぬりボード付き） ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字12～36ポイント ・HGS創英角ゴシック ・全ページカラー ・ひらがな、カタカナで表記	・図画工作 ・小学部2～3段階 ・個別学習
08-1	くもん出版	CD付き楽器カード	G03	・オーケストラで使われる楽器や和楽器の写真カード（表に写真、裏に説明文）と、それらの音色や演奏を収録したCDのセット。	・説明付き写真カードやCDを使って、幅広い種類の楽器について知ることができる。 ・さまざまな楽器への興味・関心を高めることができる。	・縦18.3cm×横12.3cm ・楽器カード31枚（ケース入り、リング穴付き） ・厚手上質紙 ・カードの表はカラー、裏は黒字 ・見出し48ポイント、本文12ポイント ・MS明朝体 ・ひらがな、カタカナ（ルビ付き）、漢字（ルビ付き）で表記	・音楽 ・小学部2～3段階 ・一斉学習、個別学習
30-2	ポプラ	おととあそぼうシリーズ7 ドン！ドン！たいこ	O07	・8曲のメロディーと4種類の太鼓等の音色が収録され、付属の太鼓とパチで演奏できる絵本。	・歌詞ページのマークを手掛かりに曲に合わせて太鼓等の音を出すことができる。 ・音楽に合わせて楽しみながら、付属のパチで太鼓を演奏することができる。	・縦18.7cm×横21.7cm ・19ページ ・ケント紙 ・全ページカラー ・曲名24ポイント、歌詞14ポイント ・HG丸ゴシック ・ひらがな、カタカナ（ルビ付き）で表記 ・単4電池2本付属	・音楽 ・小学部1～2段階 ・個別学習
20-7	東洋館	くらしに役立つ社会	001	・「私たちのくらし」とのつながりを切り口に、社会のまわりや仕組み、公共施設の役割や利用、経済の仕組み等、社会生活に必要な項目及び日本の地理と歴史について解説。	・具体的な生活場面ごとに必要な内容を整理してあり、手元において活用することができる。 ・障がいのある人が自立して社会生活を送る上で必要な知識を学ぶことができる。	・縦26cm×横18cm ・116ページ ・表紙はケント紙、本文は厚口 ・文字12ポイント、見出し24ポイント ・本文UD教科書体、見出しHGS創英角ゴシック ・本文2色刷り ・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記	・社会 ・高等部1～2段階 ・一斉学習、個別学習

R3発行者 コード	発行 所	書名	R3図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
20-3	日本 教育研	ひとりだち するための トラブル対 策改訂版	506	・対人関係・人間関係、健康な生活、金銭管理と消費者被害、スマートフォン・インターネットにかかわるトラブル対策について、具体例をもとにして自分で考えることができる内容。	・事例から自分の体験や考え、友達と話し合ったことを記入し、トラブルに対してどうすればよいか考えることができる。 ・トラブルの予防・回避・対処の視点で整理してあり、具体例から学ぶことができる。	・縦26cm×横18cm ・80ページ ・表紙はケント紙、本文は中厚口 ・文字14～36ポイント ・HG丸ゴシック ・全ページカラー ・ひらがな、カタカナ、漢字（ルビ付き）で表記	・職業、家庭、社会 ・高等部1～2段階 ・一斉学習、個別学習

**令和4年度に使用する中学校教科用図書の  
選定に必要な資料**

**令和3年度作成**

**鳥取県教科用図書選定審議会**

# 歷史



社 会	歴 史	発行者番号 2	略称 東書	書名 新しい社会 歴史
-----	-----	---------	-------	-------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 本時の学習の時代が視覚的につかめるよう、見開き 2 ページ左下に時代スケールの年表が掲載されている。(P20、P22、P24 等)</p> <p>イ 学習で身に付けた知識を整理し活用できるよう、見開き2ページ右下に「チェック&amp;トライ」が掲載されている。(P21等)</p> <p>ウ 「スキル・アップ」(20項目)で「集める・読み取る・まとめる」など、歴史学習を進めていく上での「学びの基礎・基本」が身に付く工夫がされている。(P9、P11、P15等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 「もっと歴史」では、既習内容をさらに深め、広げ、異なる視点でとらえられるよう設定されている。(P54-55、P90-91、P140-141等)</p> <p>イ 「みんなでチャレンジ」では、グループ活動や話し合い活動が設定されている。(P7、P12、P19等)</p> <p>ウ 「歴史にアクセス」では、既習内容について資料を使いさらに詳しく学ぶことができるよう工夫されている。(P8、P47、P49等)</p> <p>エ 自主的に学習を進めることができるよう、Dマークのついた教材には、二次元コードが掲載されている。(P8、P15等)</p> <p>オ 各章の最後に、思考力、判断力、表現力を生かす「まとめの活動」がある。</p>
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各章の導入として、小学校での既習内容を復習し、学習の見通しが持てるよう、「導入の活動」が設定されている。(P18-19、P62-63、P98-99等)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 小学校で学んだ人物のイラストを使って復習できるよう、第1章導入「歴史のとびら」が設けられている。(P6-7)</p> <p>イ 地理・公民の他分野と「分野関連」マークを付けて関連させたり、地図帳との関連付けがされたりしている。(P267-269、P270-272等) (P26、P28、P36等)</p> <p>ウ 国語や理科など、他教科との関連が「教科関連」マークで示されている。(P15、P25、P51等)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 「地域の歴史を調べよう」では、身近な地域の歴史を調査学習する課題が設定されている。(P56-57、P92-93、P142-143等)</p> <p>イ 「もっと歴史」では、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」というテーマが設定されている。(P54-55、P90-91、P140-141、P198-199、P272-275)</p> <p>ウ 巻末には「さくいん」の他に、用語解説がある。(P284-289)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真や歴史的な資料が掲載されている。(P180-181)</p> <p>イ 「地域の歴史を調べよう」では、東京大空襲について取り上げられ、探究的な学習の形で紹介されている。(P244-245)</p> <p>ウ 「もっと歴史」の「震災の記憶を語りつぐ」では、東北地方のいくつかの町の取組などが掲載されている。(P274-275)</p> <p>エ 持続可能な社会に向けて、SDGsの説明がある。(P270-271)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学社会 歴史 未来をひらく
-----	-----	----------	-------	-------------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 難解な用語等について、側注や「解説」で説明されている。(P21、P22、P23等)</p> <p>イ 本時の学習がどの時代のものかが視覚的にとらえられるよう、見開きページのタイトル上に時代スケールの年表が掲載されている。(P20、P22、P24等)</p> <p>ウ 学習課題の振り返りができるよう、見開き2ページの右下の「確認」と「表現」が設定されている。(P20等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 自主的・自発的に学習が深められるよう、二次元コード「まなびリンク」が掲載されている。(P17、P59、P95等)</p> <p>イ 学習課題の接続ができるよう、見開き2ページの上に出てくる人物の問いかけを考える活動が設定されている。(P21、P22、P24等)</p> <p>ウ 学びが深められるよう、「歴史の窓」「歴史の技」「身近な地域の歴史を調べよう」「歴史を探ろう」が設定されている。(P63等、P23等、P36等、P52等)</p>
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各章の「学習を始めよう」では、この章で学ぶ主題がクエスチョン(Q)形式で設定されている。(P18-19、P60-61、P96-97等)</p> <p>イ 各章の終わりには「学習のまとめと表現」として、その章(世代)を年表・人物・地図・絵などの視点で振り返らせる設定になっている。(P56-57、P92-93、P142-143等)</p> <p>ウ 「見方・考え方」の例として、時期や推移、比較、関連が挙げられ、説明されている。(P7)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 第1章「歴史の流れをとらえよう」では、小学校の既習人物を用いて歴史すごろくに取り組みせ、ゲームの要素を入れながら中学校での学びの導入にする工夫がされている。(P2-3)</p> <p>イ 小学校での既習人物等には「小学校」のマークが付けられ、小学校での学びとリンクさせている。(P40、P46、P47等)</p> <p>ウ 「関連」の印で地理や公民の学習とのつながりが示されている。(P5、P36、P52)</p> <p>エ 巻末の年表が見開き5ページで作成され、原始から現代までが一度に見られる工夫がされている。</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 「歴史を探ろう」の「神話にみる古代人の信仰」では、出雲大社や鳥取県日南町の神楽の様子が紹介されている。(P54-55)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 「歴史を探ろう」の「日本の領土をめぐる課題」では、日本の領土・領海の地図や写真が掲載されている。(P268-269)</p> <p>イ 「歴史を探ろう」の「戦争の記憶をつなぐ人々」「平和と共生を願う人々」では、平和学習についての題材が取り扱われている。(P248-P249、P284-P285)</p> <p>ウ 持続可能な未来の実現に向け、SDGsの世界を変える17の視点を用いた単元が最終章に設けられている。(P289)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 46	略称 帝国	書名 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
-----	-----	----------	-------	---------------------------

項目		特徴
学習方法工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 「技能をみがく」を設け、歴史の見方・考え方を身に付けるための技を育てる工夫がされている。(P5、P7-10、P37-38等)</p> <p>イ 学んでいる時代が分かるよう、全ての右ページの右側に年表が掲載されている。</p> <p>ウ 難しい用語について、「解説」で説明されている。(P16、P19、P21等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 自主的な学習が進められるよう、二次元コードが設けられている。(P14、P34、P48、P56等)</p> <p>イ 「人物コラム」では、様々な立場の人々が紹介され、巻末の「人物さくいん」ではその人物がどの分野で活躍したかで色分けされ、記載されている。(P18、P22、P23等、P288-289)</p> <p>ウ 章末では、左ページは知識、右ページは問いに対する振り返りができるよう、「章の学習を振り返ろう」が設けられ、節の最後では「節の問いを振り返ろう」で学んだことが説明され、表現力の育成をはかることができるよう工夫されている。(P23、P31、P56-57等)</p> <p>エ 「歴史を探ろう」・「地域史」では、当時の社会を地域の視点で眺め、具体的事例を通じて学ぶことができるよう工夫されている。(P32-33、P72-73、P120-121等)</p>
内容構成の配列について	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各章のはじめでは、見通しをもって学習に取り組めるよう、「章の問い(単元を貫く問い)」が設けられている。(P14、P60、P94等)</p> <p>イ 各節のはじめでは、「節の問い」が設けられている。</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 各章のはじめ「タイムトラベル」では、前の時代と比較することで歴史的な見方・考え方を培い、疑問点を見つけることでその時代の特色がつかめる工夫がされている。(P24-25、P34-35、P48-49等)</p> <p>イ 日本の歴史を世界の動きと関連させて学ぶことができるよう、ワイドなイラスト地図が設けられている。(P42-43、P98-99、P156-157)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 文化史は、伝統文化への関心が高められるよう、4 ページ以上で構成され、写真で紹介されている。(P42-47、P52-55、P66-69等)</p> <p>イ 異なる意見や資料を通して多面的・多角的に考察し、思考力・判断力・表現力がつけられるよう、「多面的・多角的に考えよう」が設けられている。(P144-145、P188-189、P230-231)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり等	<p>ア 領土について、本文と「歴史を探ろう」で説明されている。(P266-267)</p> <p>イ 「歴史を探ろう」では、満州移民、沖縄戦が取り上げられている。(P240-P241、P250-251)</p> <p>ウ 歴史を多角的にとらえることができるよう、環境・交流・人権・平和の視点で先人の取り組みが紹介されている。(P51、P77、P83)</p> <p>エ 未来に向けて、多面的・多角的に考える単元が最終章に設けられている。(P286-287)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 81	略称 山川	書名 中学歴史 日本と世界
-----	-----	----------	-------	---------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	ア 分かりにくい用語は、同ページに「用語解説」が設定されている。(P17、P18、P20 等) イ 振り返りができるよう、各章末には「まとめ」のページが設けられている。(P60-61、P100-101、P152-153等)
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	ア ホームページや動画・音声などを見たり聞いたりできるよう、二次元コードが掲載されている。(P47、P59、P88 等) イ 自主的・自発的な学びができるよう、資料やグラフ、写真などの横に発問がつけられている。(P17、P18、P20 等) ウ 「身近な地域を調べよう」で地域学習の方法を詳しく説明し、その具体例として「地域からのアプローチ」では、日本の7つの地域を取り上げ、地域を通しての歴史学習が設定されている。(P46-47、P58-59、P68-69) エ 「コラム」で内容が詳しく説明され、「人物コラム」で歴史上人物のエピソードが紹介されている。(P16、P19、P24等)
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫（単元の設定・配列の相違等）	ア 各章の扉には、日本史と世界史の時代を上下に分けて示す帯年表が関連資料とともに示されている。(P14-15、P62-63、P102-103 等)
	④各学年の学習内容の構成の工夫（学び方や考え方の展開の相違等）	ア 世界史の内容が、高等学校の教科書レベルで記載されている。(P20-21、P24-25、P104-109 等)
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	ア 「歴史を考えよう」では、文学・美術作品や資料などで課題を話し合い、考察できるよう工夫されている。(P56-57、P76-77、P95-96 等) イ 「歴史へのアプローチ」では、歴史を深く学ぶことができるよう、専門性が高い内容が記載されている。(P32-33、P78-79、P88-89等)
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	ア 日本の領土について、「歴史へのアプローチ⑩」で説明されている。(P266-267) イ 「地域からのアプローチ⑦」では、沖縄について琉球王国から現代までが扱われている。(P276-277) ウ 「歴史へのアプローチ⑧」では、日本の植民地支配について説明されている。(P200-201)

社 会	歴 史	発行者番号 116	略称 日文	書名 中学社会 歴史的分野
-----	-----	-----------	-------	---------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 1時間が見開き2ページで構成され、重要語句が太字と小見出しで示され、「基本用語」では、歴史上の重要語句・重要事象が解説されている。(P20、P24、P25)</p> <p>イ 学習課題の振り返りができるよう、見開き2ページの右下の「確認」が設定されている。(P19、P21、P23等)</p> <p>ウ 歴史的事象の流れや起きた場所などが確認でき、歴史的事象の定着が図れるよう、各ページに小年表や小地図が配置されている。(P30等)</p> <p>エ 学んでいる時代がわかるよう、右ページの横に年表が付けられている。</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア デジタル資料が使えるよう、デジタルマークが掲載されている。(P32、P34、P74等)</p> <p>イ 主体的・対話的で深い学びが実践できるよう、「チャレンジ歴史」と「アクティビティ」が設定されている。(P34-35、P74-75、P136-137等)</p>
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫（単元の設定・配列の相違等）	<p>ア 各編の導入部の「地図で見る世界の動き」ではその編の内容を年表と地図で概観させ、編の終わりでは「学習の整理と活用」でもう一度年表と地図で振り返りをさせる構成になっている。(P66-67等、P104-105等)</p> <p>イ 巻末の年表が9ページで構成され、教科書との関連が示されている。</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫（学び方や考え方の展開の相違等）	<p>ア 中学校の授業の導入が出来るよう、小学校で学習した人物や文化財をイラストや写真で振り返らせる設定になっている。(P6-7)</p> <p>イ ページの下に小学校地理・歴史との連携が示されている。(P30、P40、P42等)</p> <p>ウ 国語、道徳、美術など他教科との関連が示されている。(P131、P247、P308)</p> <p>エ 実物大の江戸図屏風や、室町時代の洛中・洛外図屏風と江戸図屏風が見開き4ページで掲載されている。(P106-109)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 「歴史を掘り下げる オリンピック・パラリンピックの歴史」で2020東京五輪・パラリンピックや大阪・関西万博について記述され、近代五輪の理念や万博との関わりが扱われている。(P280-281)</p> <p>イ 解決が求められる現代の諸課題について、よりよい社会の実現が主体的に考えられるよう、歴史学習の終わりには「歴史との対話」を「未来に活かす」が設けられている。(P298-305)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 「歴史を掘り下げる」では、北方領土、竹島、尖閣諸島問題が扱われている。(P292-293)</p> <p>イ 「出かけよう地域調べ」では、大阪空襲が取り上げられている。(P256-257)</p> <p>ウ 「琉球の文化」「アイヌの文化」が取り上げられている。(P92-93、P132-133)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 225	略称 自由社	書名 新しい歴史教科書
-----	-----	-----------	--------	-------------

項 目		特 徴
学 習 方 法 の 工 夫 に つ い て	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 各単元で学習する時代、時期がつかめるよう、見開き2ページ左下に年表「歴史モノサシ」が掲載されている。(P20、P22、P24等)</p> <p>イ 小学校で学習した歴史上の人物や重要人物を確認するために、各章のはじめに〈予告篇〉が掲載されている。(P19、P69、P105等)</p> <p>ウ 見開き2ページの右下に、本時の学習を復習することができる「チャレンジ」が設定されている。(P20、P22、P24等)</p> <p>エ 章末に各章の復習ができる問題や地図を活用した問題をまとめた「復習問題のページ」が設定されている。(P66、P102、P146等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 各章で調べ学習に適したコラム「もっと知りたい」の設定や「調べ学習のページ」で調べ学習の例の紹介がされている。(P32-33、P40-41、P64-65等)</p> <p>イ 各章末にそれぞれの時代区分の特徴を捉えられる課題を提示した「時代の特徴を考えるページ」が設定されている。(P67、P103、P147等)</p>
内 容 の 構 成 ・ 配 列 に つ い て	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各単元の番号が、章や節ごとではなく全ての章を貫いた通し番号(1~94)として記載されている。</p> <p>イ 各章の〈まとめ図〉と次の章の〈予告編〉が見開き2ページで示され、章と章(時代と時代)のつながりを意識できる構成になっている。(P68-69、P104-105、P148-149等)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 「歴史の言葉」または「知っ得ポイント」の中で、その言葉の由来や歴史的事象の解説が掲載されている。(P22、P27、P49等)</p> <p>イ 各章末の「復習問題のページ」では、地図帳の活用や地理的分野の学習と関連させられる「地図問題」が掲載されている。(P66、P102、P146等)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 各時代の外国人が見た日本や日本の文化、できごとについて、多面的に考えることができる「外の目から見た日本」が設定されている。(P35、P116、P143等)</p>
そ の 他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	<p>ア 日本の領域に関する資料、写真等が掲載されている。(P172-173、P262-263、P278-279)</p> <p>イ 東日本大震災をはじめとする自然災害に関する資料、写真等が掲載されている。(P277、P282)</p>

社 会	歴 史	発行者番号 227	略称 育鵬社	書名 [最新]新しい日本の歴史
-----	-----	-----------	--------	-----------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	① 基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	ア 時代ごとの長さや位置関係がわかるよう、各章のはじめに「歴史モノサシ」(100年=1cm)が提示されている。(P19、P69、P103等) イ 単元で学習した内容を自分で整理しまとめられるよう、各章末には「学習のまとめ」が設けられている。(P66-67、P100-101、P152-153等)
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	ア 「このころの世界は」では、各時代の日本の歴史とかかわりの深い外国の動きについて解説されている。(P38、P84、P110等) イ 様々な資料をもとに深い学びができるよう、「歴史のターニングポイント」が設けられている。(P64、P98、P150等)
内容の構成・配列について	③単元構成の工夫(単元の設定・配列の相違等)	ア 各章冒頭に「鳥の目」で歴史の流れを大観する「歴史絵巻」と虫の目で時代の特色をつかむ「〇〇の世界へようこそ!」が設定されている。 イ 巻末に日本の歴史を大観するため、日本の歴史のまとめとし、日本の歴史を400字の文章で表現する単元が設定されている。(P292-293)
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	ア 序章により、小学校での学習内容(おもな出来事・人物)が復習できるよう工夫されている。(P8-11) イ 「地域の歴史を調べてみよう」①②では、大阪・横浜を題材として、探究調査の方法が説明されている。(P13-18、P156-159)
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	ア 「歴史ビュー」では、本文の内容にかかる事項について多角的な視点から解説されている。(P35、P37、P47等) イ 「三種の神器」「伊勢神宮」「国民とともに歩む天皇」等、神話・天皇について掲載されている。(P56-57、P282) ウ 各章のはじめに「海洋国家日本のあゆみ」を置き、各時代を象徴する船を取り上げ外国との関わりが示されている。(P19、P69、P103等) エ 『私の歴史博物館』をデザインしてみよう』では、生徒が学芸員になったつもりで展示方法を考えることで知識を深め活用する工夫がされている。(P65、P99、P101)
その他	⑥今日的な教育課題との関わりなど	ア 「歴史ズームイン」では、北方領土、尖閣諸島、竹島について、歴史的資料が取り上げられている。(P266-267) イ 各章の最終ページに「なでしこ日本史」が設定され、その時代の象徴的な女性について説明されている。(P68、P102、P154等) ウ 「歴史ズームイン」では、日本で過去に起こった震災についての年表や石碑の写真が掲載されている。(P284-285)

社 会	歴 史	発行者番号 229	略称 学び舎	書名 ともに学ぶ人間の歴史
-----	-----	-----------	--------	---------------

項目		特徴
学 習 方 法 工 夫 に つ い て	①基礎・基本の確実な定着を図るための工夫	<p>ア 基礎的な知識の定着が図れるよう、各章に「〇〇をふりかえる」のページが設定されている。(P34、P52、P84-85等)</p> <p>イ 難しい用語が、同ページで説明されている。(P13、P19、P20等)</p>
	②自主的・自発的な学習を促すための工夫や、個に応じた学習の工夫	<p>ア 生活の中で歴史が体感できるよう、「歴史を体験する」「実験」などのコーナーが設けられている。(P34-35、P104-105、P158-159等)</p> <p>イ スリーヒントクイズやゲームなどで学習内容を振り返らせ、意見交換などができるよう、各部ごとに「学習のまとめ」のページが設けられている。(P52-53、P84-85、P134-135等)</p> <p>ウ 深く歴史を学ぶことができるよう、ページ下には「コラム」が設けられている。(P5、P13、P15等)</p>
内 容 構 成 の ・ 配 列 に つ い て	③単元構成の工夫 (単元の設定・配列の相違等)	<p>ア 各章のはじめのページでは、課題意識が持てるよう、世界地図を中心に、その時代に関する写真や絵(学習課題)が示されている。(P10-11、P36-37、P54-55等)</p> <p>イ 巻末年表の時代区分が「本州」「北海道」「沖縄」の地域ごとに示されている。(P282-293)</p>
	④各学年の学習内容の構成の工夫(学び方や考え方の展開の相違等)	<p>ア 時代が明確になるよう、本文はじめに「フォーカス」が設けられている。(P30、P56、P58等)</p>
	⑤特徴的な単元における課題の構成の工夫	<p>ア 多面的に考えることができるよう、蒙古襲来や日清・日露戦争など、日本と相手国の両方の目線で記述されている。(P68-69、P184-185)</p> <p>イ 東アジア(中国・朝鮮半島)などの近隣諸国について具体的に記載されている。(P56、P68、P72等)</p> <p>ウ 人(民衆)を軸として歴史を見る構成になっている。(P150-157、P198-207)</p>
そ の 他	⑥今日的な教育課題との関わり等	<p>ア 領土問題について、尖閣諸島・竹島・北方領土問題が簡潔に書かれている。(P185、P189、P257)</p> <p>イ 戦争の現実を知り、平和についての考えが深められるよう、体験者の証言やエピソードなどが記載されている。(P240、P241)</p>



# 諮 問

## 鳥取県教科用図書選定審議会

小学校教科用図書、中学校教科用図書及び特別支援学校教科用図書については、令和4年度に教科用図書を採択し使用することになっており、この教科用図書の採択事務を令和3年度に行わなければなりません。

鳥取県教育委員会は、この採択事務を行う市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長に対して、適切な指導、助言または援助を行う必要があります。

よって、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）第11条第1項の規定により、下記事項について諮問します。

令和3年4月27日

鳥取県教育委員会教育長

足 羽 英 樹



### 記

- 1 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について
- 2 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について
- 3 令和4年度に使用する中学校教科用図書の採択基準について
- 4 令和4年度に使用する中学校教科用図書の選定に必要な資料について
- 5 県が設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択について
- 6 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について

## 令和3年度教科用図書選定審議会の審議、答申の流れ

### 第1回教科用図書選定審議会（4月27日）

- 県教育委員会から審議会への諮問
  - ① 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について
  - ② 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について
  - ③ 令和4年度に使用する中学校教科用図書の採択基準について
  - ④ 令和4年度に使用する中学校教科用図書の選定に必要な資料について
  - ⑤ 県が設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択について
  - ⑥ 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について
- 諮問事項の①、③、⑤、⑥について協議
- 諮問事項の②、④の調査研究のための条件について協議

### 第1次答申（4月）

- 審議会長から教育長へ諮問事項のうち下記の4事項について第1次答申
  - ・ 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について
  - ・ 令和4年度に使用する中学校教科用図書の採択基準について
  - ・ 県が設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択について
  - ・ 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について

○ 著作図書及び一般図書について教科用図書調査員による調査研究（5月）

○ 特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書（一般図書）の調査研究（第1回5月11日、第2回5月20日）

### 第2回教科用図書選定審議会（6月10日）

- 諮問事項のうち下記の2事項についての協議。
  - ・ 令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について
  - ・ 令和4年度に使用する中学校教科用図書の選定に必要な資料について

第2次答申（6月10日）

○審議会長から教育長へ諮問事項のうち下記の2事項について答申

- ・令和4年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書を選定に必要な資料について
- ・令和4年度に使用する中学校教科用図書の選定に必要な資料について

○第2次答申を受けて、市町村（学校組合）教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長に選定に必要な資料を送付（6月30日）

○第2次答申を受けて、県立の特別支援学校において使用する教科用図書の採択決定（7月下旬）